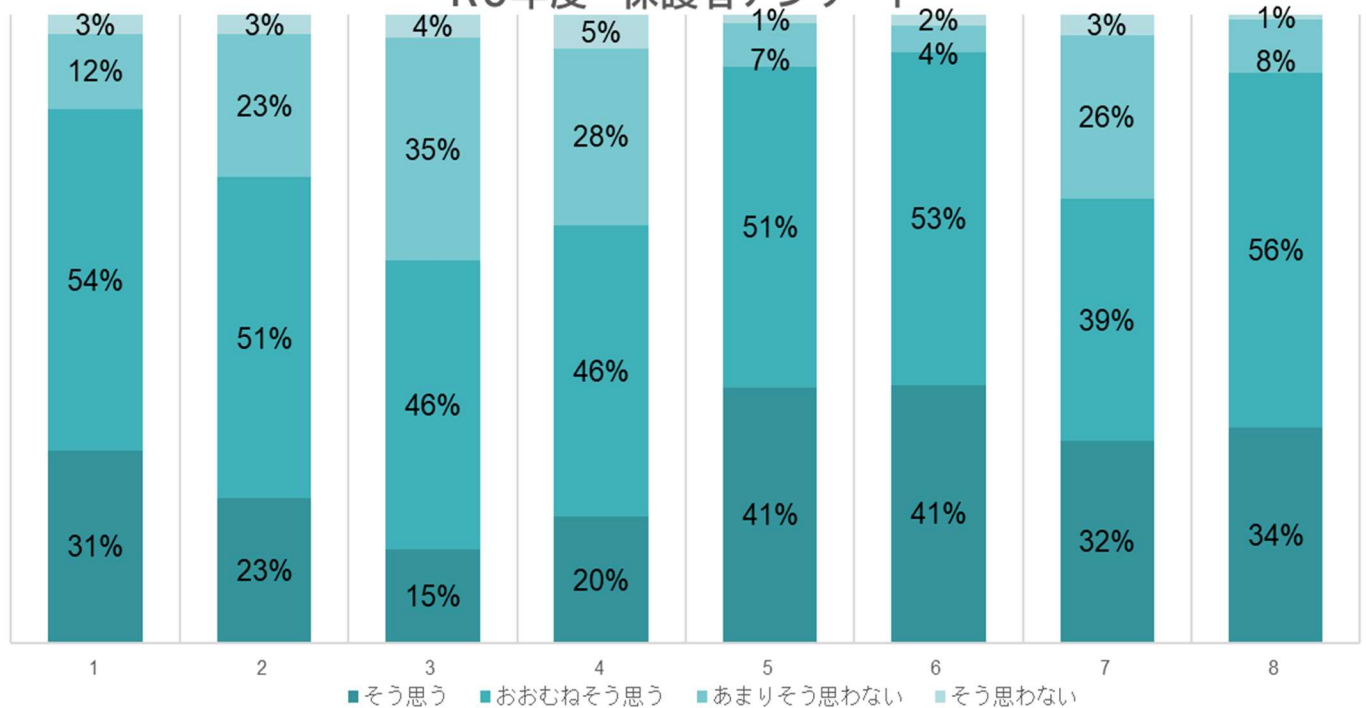


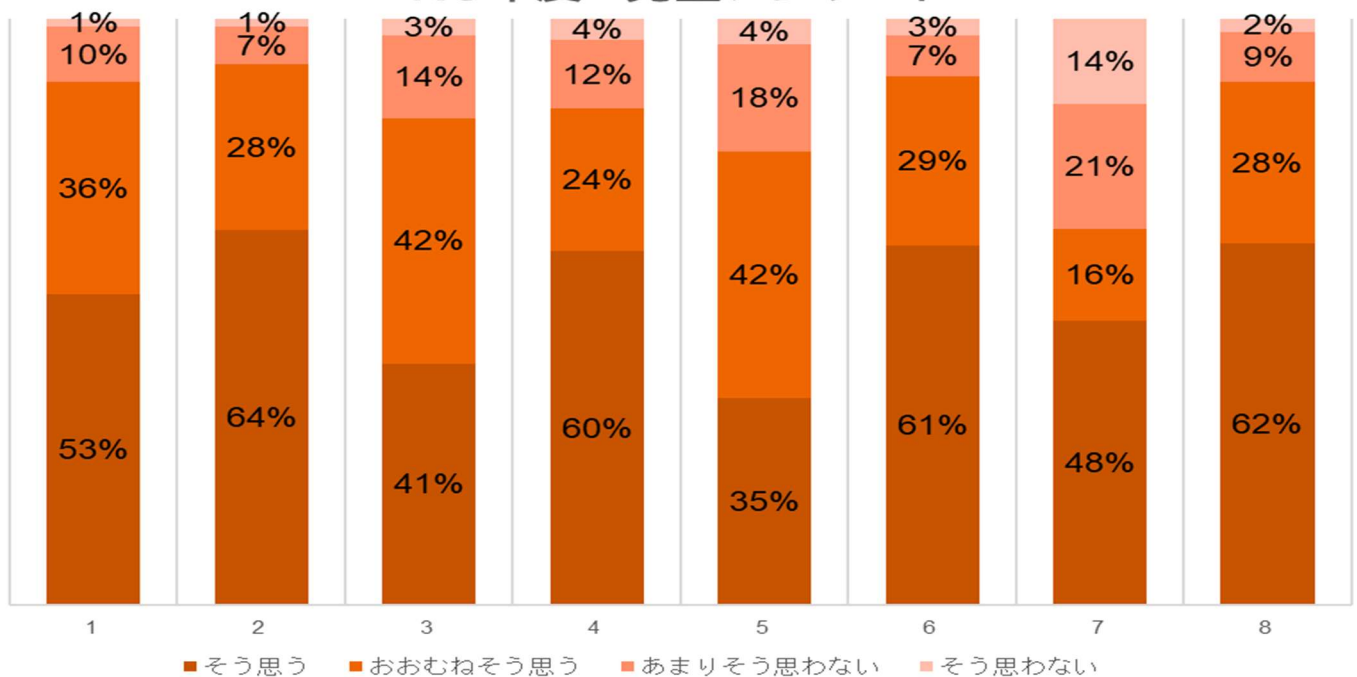
令和6年度学校評価について

R6年度 保護者アンケート



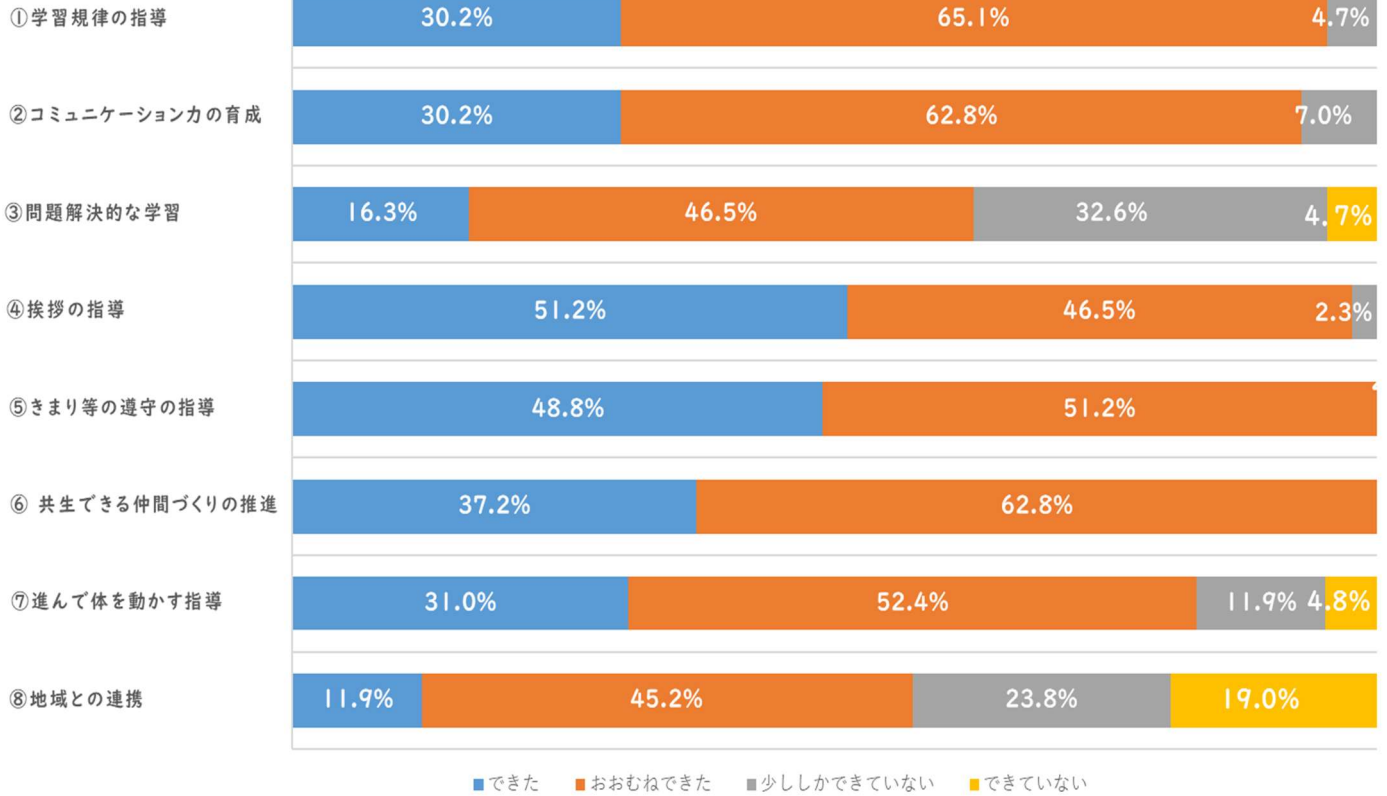
1 学習準備を整え学習規律を守って勉強をしている。	2 進んで学習に取り組む、自分の考えをもつことができている。	3 子どもたちは自ら課題を見付け、協力してその課題解決を図ろうとしている。	4 友達や先生、地域の方たちに自分から進んで挨拶できている。	5 マナーやモラル、ルールを守って行動することができている。	6 友達と仲良く過ごし、安心して学校生活を送っている。	7 学校生活や放課後、休日を含め、進んで体を動かしている。	8 ボランティアや地域の皆さんの力を活かした学習をしている。
---------------------------	--------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	--------------------------------

R6年度 児童アンケート

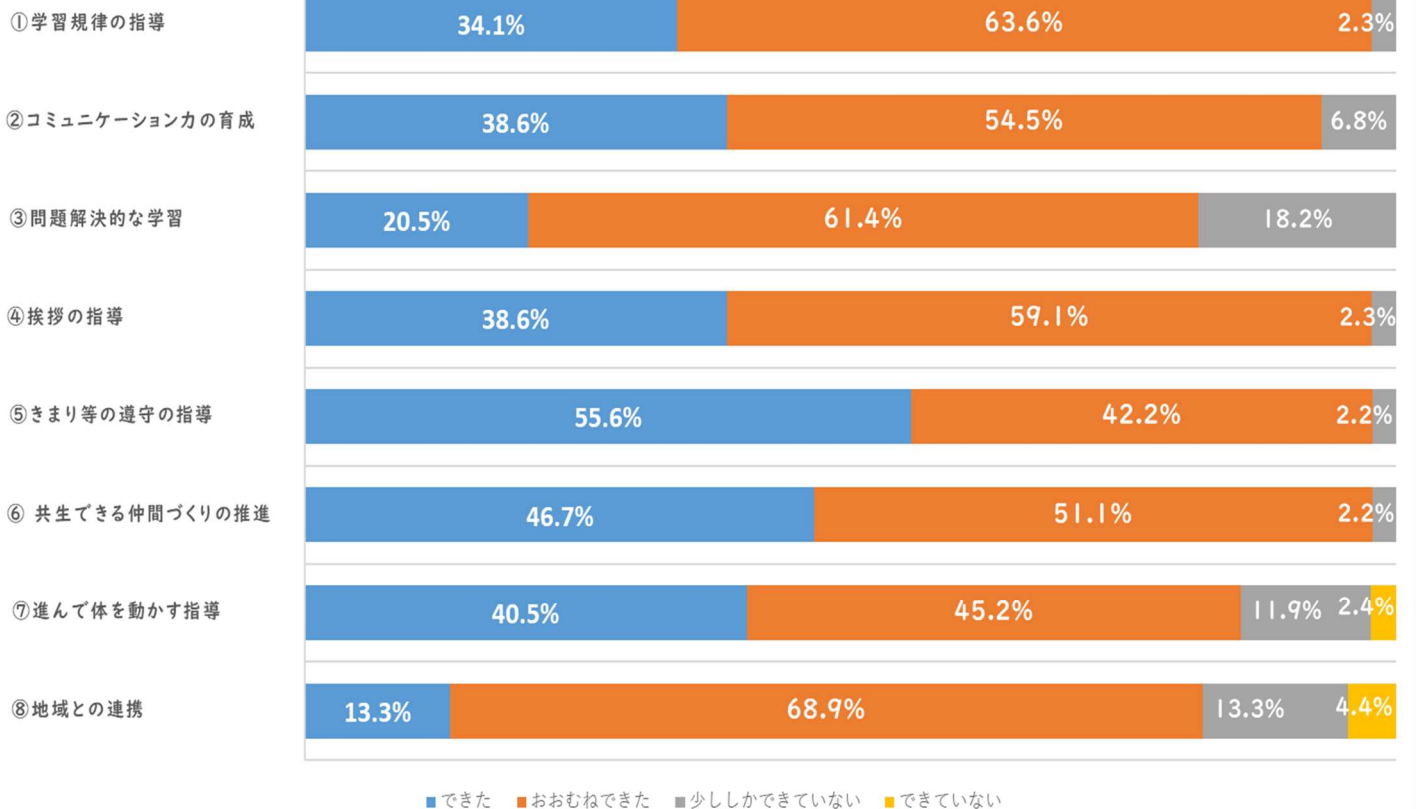


1 学習準備を整え、学習ルールを守って勉強できましたか。	2 進んで学習に取り組む、ノートに書いたり、タブレットを使ったりして、自分の考えをもつことができましたか。	3 身近なところから課題を見付け、自分なりに考えをもち、協力してその解決を目指すことができましたか。	4 先生や友達、地域の人に自分から進んであいさつできましたか。	5 廊下を走らないなど学校のルールを守ったり、ていねいな言葉をつかうなどマナーを守ったりできましたか。	6 みんなから大切にされ、安心して学校生活を送ることができましたか。	7 朝や20分休み、昼休みは、運動場に出て、元気に遊んでいますか。	8 地域の方に教えてもらったり、一緒に活動したりして、しっかり学習できましたか。
------------------------------	---	--	---------------------------------	---	------------------------------------	-----------------------------------	--

R6中間期教職員自己評価



R6後期教職員自己評価



昨年12月に実施しました「学校評価アンケート」について、集計結果及び考察について、児童アンケート、教職員自己評価とともに示させていただきます。

今回の保護者の皆様のアンケートでは、「子どもは・・・」という尋ね方はせず、「お子さんは・・・」と尋ねましたので、全体的な印象ではなく、自分のお子さまをご覧になられての評価となりました。その中で保護者の皆様の評価は、8項目中4項目で「そう思う」「おおむねそう思う」と回答いただいた割合が80%以上と高く、肯定的なご意見が多かったです。しかしながら、80%に到達していない項目も4項目あり、今後の課題として、学校、家庭、地域が連携した取組が必要だと感じています。

「学習規律」の項目に関しては、教職員もしっかりと指導を行っており、保護者や児童の意識も85%以上と高い評価になっています。これは、年度当初に教職員で学習規律の重要性について確認を行うとともに、日々の教育活動の中で児童とともに意識できている成果だと感じています。また、参観や来校していただいた時に、子どもたちの様子を見ていただいていることも影響しているのだと感じています。本年度も奈良県教育委員会や生駒市教育委員会、生駒小学校学校運営協議会委員をはじめ、いろんな来客の方などからも「落ち着いて学習していますね。」と感想をいただいています。

「自分の考えをもつ、コミュニケーション力」の項目に関しては、教職員や児童の方では90%前後で高い評価になっています。保護者からは74%であり、昨年度よりも8ポイント下がっています。質問項目に「自分の考えをもつ」という箇所の下線を引き、強調したことも影響したと思われるのですが、約25%の子どもたちが、まだ、しっかりと自分の考えを持っていないと考えられています。国語科の「書くこと」を中心として指導に当たったり、タブレットを使用して自分の意見を持ち、それを大型モニター等を使用してお互いの意見を交流したりして、「自分の考えを持つ」という指導をしています。今後はより一層、個々に寄り添うことが必要だと考えています。

「問題解決的な学習」の項目に関しては、教職員においては約82%と中間期よりも約20ポイントアップしています。また、児童においても83%で、昨年度よりも3ポイントアップしています。本年度も総合的な学習の時間やESDをはじめとする課題解決学習に取り組んだことにより、肯定的な意見が多かったと思います。しかし、保護者においては61%であり、昨年度よりも9ポイント下がっています。課題解決を図るお子さまの様子が、十分に伝わっていないように感じます。今後は、今までの教育活動を充実させるとともに、自由進度学習や複線型授業等、自ら課題を設定して取り組む教育活動も行っていきたいと考えています。

「あいさつ」の項目に関しては、教職員においては約98%と、しっかりと指導していることが伺えます。また、児童においても84%で、自ら進んで挨拶できている子が多いです。しかし、保護者の評価においては、66%とその割合は昨年度よりも3ポイント下がっています。自分のお子さまを見られての評価となってしまうのでしょうか。地域の方からは、「子どもたちからの挨拶で元気もらっています。」「よく話しかけてくれるんですよ。」という感想をいただいています。自分から進んでというのは、ハードルが高いかもしれません。また、声を出すということを恥ずかしがっている子もい

るかもしれません。少し会釈する等でも良いので、子どもたちが進んで挨拶できるよう、我々大人も、雰囲気作りをすることも大切だと思います。朝、見守り活動をしてくださっている方は、笑顔で子どもたちを迎えてくれています。今後も、多くの子どもたちが、毎日気持ちよく挨拶できるようになるためには、ご家庭や地域の方の協力も必要となります。まずは、ご家庭での声掛けを是非お願いします。

「きまり等の遵守」の項目に関しては、教職員、保護者ともに90%以上と高い評価ですが、子どもたちにおいては77%となっています。広い廊下を走ってしまう、言葉遣いが丁寧でないなど、子どもたち自身が厳しい評価をしていると思います。このことに関しては、教職員が統一して指導を行っているとともに、委員会の子どもたちも呼びかけをしてくれています。また、ぽかぽか言葉とちくちく言葉について取り組むなど、学校全体として「言葉」について考えてもらっています。引き続き、指導していきたいと思います。

「仲良く、安心して学校生活を送っている」の項目に関しては、教職員、保護者、児童ともに90%以上と高い評価です。安心して過ごせる学級づくり、トラブルが起こっても迅速に対応する学年集団などの効果があったのではないかと考えます。現在は、「あったか標語」を募集して、掲示することにより、校舎に入ってから教室に向かうまでの間に心が温まる環境を生み出そうとされています。次年度も引き続き、安心できる学校づくりに取り組んでいきたいと思っています。

「進んで体を動かす」の項目に関しては、教職員は約86%が意識して指導したものの、保護者においては71%、児童においては64%と低い評価になっています。体力向上を図るための取組を行ったり、教職員が体づくりの研修を行ったりしていますが、この項目においては、毎年度課題となっています。

「地域との連携」の項目に関しては、2学期に地域の方を招いての学習が多かったことから、教職員の評価も約82%と高くなっています。また、保護者や児童の評価も90%と高い評価になっており、昨年度と比べて、保護者では3ポイント、児童では7ポイントアップしています。児童においては、実際に自分たちが授業を受けたと感ずることが多かったからだと思います。また、保護者においては、子どもたちからの話や、学校からの情報発信も高評価の原因になったのではないかと考えます。本年度も「いこマイタウンプロジェクト」として、ESD に取り組みました。地域の方との連携もさらに進んでいます。今後も地域の方のサポートをいただきながら、教育活動を進めていきたいと思っています。

今回、保護者からの意見で、150周年行事の実施、子どもと保護者に寄り添った対応で安心して通わせられる、積極的な外部講師招聘などについて、多くの感謝の言葉をいただきました。大変ありがたく感じるとともに、さらに気を引き締めて教育活動に取り組まなければならないと感じました。また、いただいたご意見に対しては、改善できるよう検討して参ります。今後も子どもたちのために、より良い教育活動を進めていきたいと思っています。

以上、簡単ではありますが学校評価についての考察とさせていただきます。貴重なご意見、ありがとうございました。